

おはなしの部屋で 温かい気持ちに

大人と子どものお話し会

絵本やわらべうたに親しんでもらおうと、一月十七日、大人と子どものお話し会が、町文化センターで開かれました。

この日は、四十人の子どもや大人が参加。全国各地で、絵本の講演活動やお話を語っている落合美知子さんを招き「ねずみのすもう」などのお話しや「おおさむ こさむ」などのわらべうたを一緒に歌い楽しい時間を過ごしました。参加者は「とても温かい気持ちになりました」など感想を話していました。



落合さんと一緒にわらべうたを歌う

一年の収穫を喜ぶ

根雨小もちつき大会



掛け声を合せ、楽しそうにもちをつく児童ら

元気でいい年を過ごそうと、一月二十日、根雨小学校もちつき大会（佐々木史子校長）が、同体育館で開かれました。保護者たちの声援を受けながら、全校生徒百三十四人が学年別に分かれて約六〇キログラムのもちをつきあげました。児童は「自分たちが育てたもち米が食べれてうれしい」と喜んでいました。つきあがったもちは、ぜんざいや雑煮などにして食べました。

もち米は、勤労生産学習の一つで、同学校近くの水田（約五アール）で児童たちが、五月に田植えをし、十月に収穫しました。

大きなボールが 空中に舞う

「キンボール」で楽しむ

体力増進を図ろうと、一月二十日、二十二日、ニユースポーツ講習会「キンボール」が、日野中学校体育館で開かれました。

キンボールは、直径一メートル二センチの大きなボールを相手コートに打ち、そのボールが床に落ちるまでにキャッチする新しいゲームで、体力に合せて、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツです。

二回開かれた講習会には、延べ三十人が参加。町体育指導委員の指導を受けながら、さわやかな汗を流しました。



新しいスポーツでさわやかな汗を流す

差別の現実深く学び、暮らしに生かす

第二十七回日野町人権・同和教育研究集会

差別のない明るいまちづくりを推進しようと、一月二十四日、第二十七回町人権・同和教育研究集会を、町文化センターを主会場に開きました。開会行事では「暮らしに生かす人権・同和教育の実践を」と基調提案がされました。講演には、解放社会学研究

所長の江嶋修作さんを迎え「輝いて生きるために」と題し、話を聞きました。江嶋さんは、結婚差別の事例などを通して「差別には理由も根拠もない。正しい考えを持つているだけは、役に立たない。その時、具体的に行動できなければ何もならない」と話されました。



活発な意見が飛び交う分科会

その後、参加者は、各会場で各グループに分かれ、自身の中にある差別意識を見つめ直しながら、身の回りの差別を点検し、愛と元氣な町づくりを目指す」をテーマに、課題や今後の取り組みについて活発な意見を出し合いました。



「差別には根拠がない」と語る江嶋さん